

兵庫県ろうあ者新年大会兼成人のつどい「大きなかぶ」披露



黒子の職員(高田) ▲
← 出待ちの役者たち



▲ 誰がおばあさんで、おじいさんで、孫で、
犬で、猫で、ネズミかわかりますか？

1月17日(日)、
洲本文化体育館
にて新年大会があ
り、入所者18名で
参加してきまし
た。
会場では久しぶ
りの再会を喜び、
話しに花を咲かせ
ていた入所者の
方々。
午後のトップで
「大きなかぶ」の劇
を会場のみなさん
にご披露しまし
た。発表直前、入
所者の方々より
職員の私達の方が
緊張で胸がドキ

キでした(笑)
みなさん、舞台
の上でも堂々とし
た演技で会場の笑
いを誘っていまし
た。
新年大会終了
後も話しは尽きな
いと云った感じで、
名残惜しうに会
場を後にした入所
者の方々でした。
(介護・
高田佳代)



▲ 記念講演
半澤啓子さん



☆2月生まれの皆さん☆ Happy Birthday

入所者の伊藤さん、職員の渋谷さん・
近本さんは同じ誕生日なんですよ☆

- ・ 足立達也 (介護)
- ・ 上田加織 (介護)
- ・ 渋谷裕子 (医務)
- ・ 高田佳代 (介護)
- ・ 谷 庸子 (介護)
- ・ 近本顕子 (医務)
- ・ 坊田かつ彥 (調理)
- ・ 除補成子 (介護)
- ・ 伊藤照子 (84)
- ・ 辛島シツカ (87)
- ・ 北風章子 (80)
- ・ 北川他久美 (68)
- ・ 小林紀雄 (83)
- ・ 酒井道恵子 (80)
- ・ 柴山貞子 (89)
- ・ 富永ゆき子 (88)
- ・ 松崎恵子 (75)

※名前紹介はアイウエオ順



いつも大忙し!

部署紹介 8

地域活動センター おのころの家

平成19年9月より開所し、2年5ヶ月が経ちました。利用者は、ろうあ者と難聴者または障害者手帳を持つ人、計40名です。職員は4名です。

コミュニケーションは手話、身振り及び筆談ですが、お互いに助け合って通じています。

朝のお迎えでは、みなさん毎日、笑顔で待ってれています。これからも楽しい一日を過ごしてもらえよう、がんばっていきます!

(所長・橋詰一則)

玉ねぎの苗植え

1月23日(土)、
玉葱の苗を植えまし
た。寒い中、ポランテ
イアのみなさんにご協
力いただき、あつとい
う間に植えることがで
きました。収穫する
日が待ち遠しいで
す!

玉葱には、血液を
サラサラにする効果
があるみたいです。
みなさん、玉葱を食べ
て血液サラサラ健康
になりましょう。
(介護・萩原)



▲ 仕上げに水やり



▲ みんなプロ! ▲

ふくろう 喫茶 お知らせ

2月21日(日)
13:00~15:00

ふくろう喫茶で淡路ふくろうの郷
の入所者さんと楽しい時間を過ご
しませんか。

- ・ コーヒー・ココア・紅茶
- ・ カルピス などなど

¥200より

第7回ふくろう学習会

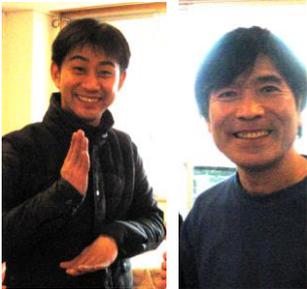
1月24(日)、第7回ふくろう学習会では「デフ・パペットシアター・ひとみ」代表の善岡修氏と、団員の榎本トオル氏をお招きしてワークショップ形式で講演していただきました。

一般的にはろう者と聴者は手話でコミュニケーションを図りますが、楽しく体験できました。老若男女だれもが楽しめる講演内容になり、充実した2時間でした。

(相談員：濱田)

▲みんなで協力して、自由に絵(情景)を作っていきますよ。何が覚えてくるかな？

「デフ・パペットシアター・ひとみ」のみなさんは今、新作準備に取り掛かっているそうです。どんな作品になるのか、とても楽しみです。みなでまた観に行きましょうね。



▲善岡さん☆榎本さん▲

とんど焼き



▲焚き火気分

1月15日(金)、施設裏にある畑で「とんど焼き」を行いました。今回は冷え込みもあり、入所者の参加は少なかったです。無病息災、家内安全(施設安全)を願い、書初めや門松を燃やし、その後、焼き芋をしました。来年も行いたい大切な行事です。

(介護：神代)

兵聴協事務所から研修生



▲富永さんと梅澤さん▲

ですが」と言ってもらえて、嬉しかったです。研修といっても自分ができることはなく、職員の方には二面倒をかけたかと思いが、事務所働いているだけではわからない、貴重な経験をさせていただきました。

短い間でしたが、やさしく受け入れてくださった入所者の皆さん、職員の皆さん、ありがとうございました。またお会いする機会があると思いますので、そのときはよろしくお願いたします。

兵庫県聴覚障害者協会 専従職員

梅澤仁士

リレーエッセイ

評議員：水田俊子

兵庫の聴覚障害者30年来の夢を実現できた「ふくろうの郷」を訪れるたびに、いつも気持ちを引き締めています。建設に漕ぎ着けるまで仲間と一緒に頑張ってきたことが昨日のことのように思えますが、入所した皆さんの満足した表情を見ると、良かったと安堵感を覚えます。

うちの姉も去年の春から軽い認知症のため、近所のデイサービスに通所を続けていました。が、昨秋、脳出血性認知症で倒れ、介護度が更に重くなり、自力で食事も取れなくなりました。

姉に合った施設を探すのに苦労し、3ヶ所くらい予約しましたが、なかなか順番がこちらに回って来ず、療養型病院に入院して半年くらいしてから、健康に問題ないから退院の用意をするよう言われ途方に暮れました。

又、施設を探すのも、予約するのも大変でした。ふくろうの郷のご好意でショート入所できましたが驚いたことがあります。

右半身が麻痺し、病院では少し話せましたが、しばらくすると無表情になり、一言も話せなくなりました。ところが、ふくろうの郷に入所後1ヶ月も経たないうちに少し表情が戻り、声も不明瞭ですが、発声されたのです。娘も久しぶりに声を聞いて、「声が出たよ」と大喜びでした。

やはり、入所者・職員の心のこもった対応のお陰で、姉も人間らしい感情が戻ったのだと安心しました。

安心してお預けできる場所はありません。本当に感謝の気持ちで一杯です。お礼を申しあげます。

地域を語る

第14回

二ツ石の割れ石

無量山大照寺

本間克伯 住職

前号13号の先山千光寺縁起の由来には、続きがあります。二ツ石町内には、地名の起りとも云われる、大きな割れ石がある。その二ツ石に纏まわるお話です。

狩人忠太改め、僧寂忍となつた忠太には妻が居りました。夫の帰りを待ちわびていた妻は、何時まで待っても帰らぬ夫を尋ねて、播州の地より、先山の麓ふもとの、小さな村へ辿たどり着いた。

折りしも懐妊中の妻が産気付き、大きな石の上で赤子を生み落しました。

この赤子が、父親に会えない悔しさに地団太を踏んだら大石が、真二つに割れたと云う言い伝え



「二ツ石物語」

がある。その二つに割れた石に因ちなんで、今の地名、二ツ石の名が定まつたと伝えられている。

その石には、今もなお地団太を踏んだ子供の足跡がある。

後に地域の人々に依り二つに割れた石の上の子供の健すこやかな成長と安産を願うお地藏様が祀られる様になつた。

毎年八月の地藏盆の夜には、地域の子供達と、町内の人々に依より賑やかに盆祭りが行われる。

誕生日会に手話落語

鳴門亭笑徹さん



今回の1月誕生会は、新年会も兼ねて、手話落語家の鳴門亭笑徹さんを招いて落語を開きました。

テーマは、「若返りの水」「医者と大蛇」で、内容もおもしろく、演者の動きや表情の変わる様をじっと見ている人が多く、楽しんでいただけました。

手話落語は、入所者に好評だったので、今後も手話落語家の方をお招きしたいと思います。

(介護・・・三谷)

第8回ふくろう学習会お知らせ

特別養護老人ホーム いこいの村(梅の木寮)

施設長 奥本初美氏

いこいの村の成り立ち・実践 ~これからの展望~

3/27(土) 15:30~17:30 ◆参加費 500円◆

高齢聴覚障害者施設の草分け、京都府綾部市「いこいの村」の運動の歴史、実践等をお話しいたします。

作業給料日



こくろうさまです



1月にふくろう工房の手作りの作品や喫茶、畑で収穫したさつまいもの売上等から、入所者さんにお給料をお支払いしました。

八木事務長からお給料袋を受け取る皆さんの笑顔も照れた顔もとても輝いていました。つい手を合わせて拝んでしまう方もいました。

ふくろう工房では作る喜びはもちろん、販売を通して社会に貢献し、社会と繋がりを続けていくことを目的としています。いくつになっても働く喜びをお持ちの入所者さんには、いつも見習わなくてはとこちらが励まされてまいります。

これからもお仕事頑張ってください。そしてふくろう工房の作品をお買い上げ頂いた皆様、どうもありがとうございました。

(介護：小林)

洲本実業高校 マラソン大会

2月3日(水)、実業高校のマラソン大会。ふくろう正門前がちょうど女子の折り返し地点。みんなで応援しました。



頑張れ〜!とタ〜ッチ!